



Washington Japanese Language School
(祝) 60 周年 ワシントン日本語学校

2019 年 2 月 9 日発行 第 36 号

校長 佐藤 良明

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>

[ワシントン日本語学校事務局]

HOT LINE (301)962-7415

TEL (301)962-7410

FAX (301)962-7411



鬼は外、福はうち

降った雪も日増しに解け、寒さは依然として厳しいものの、時折のうらうらとした日差しには春の気配を感じます。2月3日は節分、1日早い節分を幼稚園の子ども達と保護者の方々と楽しみました。

「節分は、みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味をこめて、悪いものを追い出す日です。

『鬼は外、福はうち』と言いながら豆まきをするよ。」と、先生が分かりやすく説明すると、子ども達は、熱心に鬼のお面と、紙で丸めた豆づくりに取り組みました。午後には、鬼に扮したお父さんが登場し、子ども達の歓声の中、逃げる鬼や向かって来る鬼に豆を投げて追い払い日本の伝統文化を楽しみました。

節分とは、季節を分けると書きます。節分があって、立春、立夏、立秋、立冬を迎えます。ですから、2月4日は暦の上ではもう春です。昔は春が来た日を一年の初めとも考えていました。そして、季節の変わり目には邪気(鬼)が生じると考えられており、それを追い払うための行事として「豆まき」が行われるようになりました。古くから、豆には生命力と魔除けの呪力が備わっていると信じられていて、豆(まめ)を鬼の目(魔目)に投げつけると邪気(鬼)を追い払い、一年の無病息災を願うという意味合いがあります。

(写真は左から、うさぎ組、きりん組、ぱんだ組)

楽しい昼休み



先々週は、この冬初めて大寒波に襲われ、数日間はマイナスの低温と寒風が吹きあられ雪も降るという天候でした。

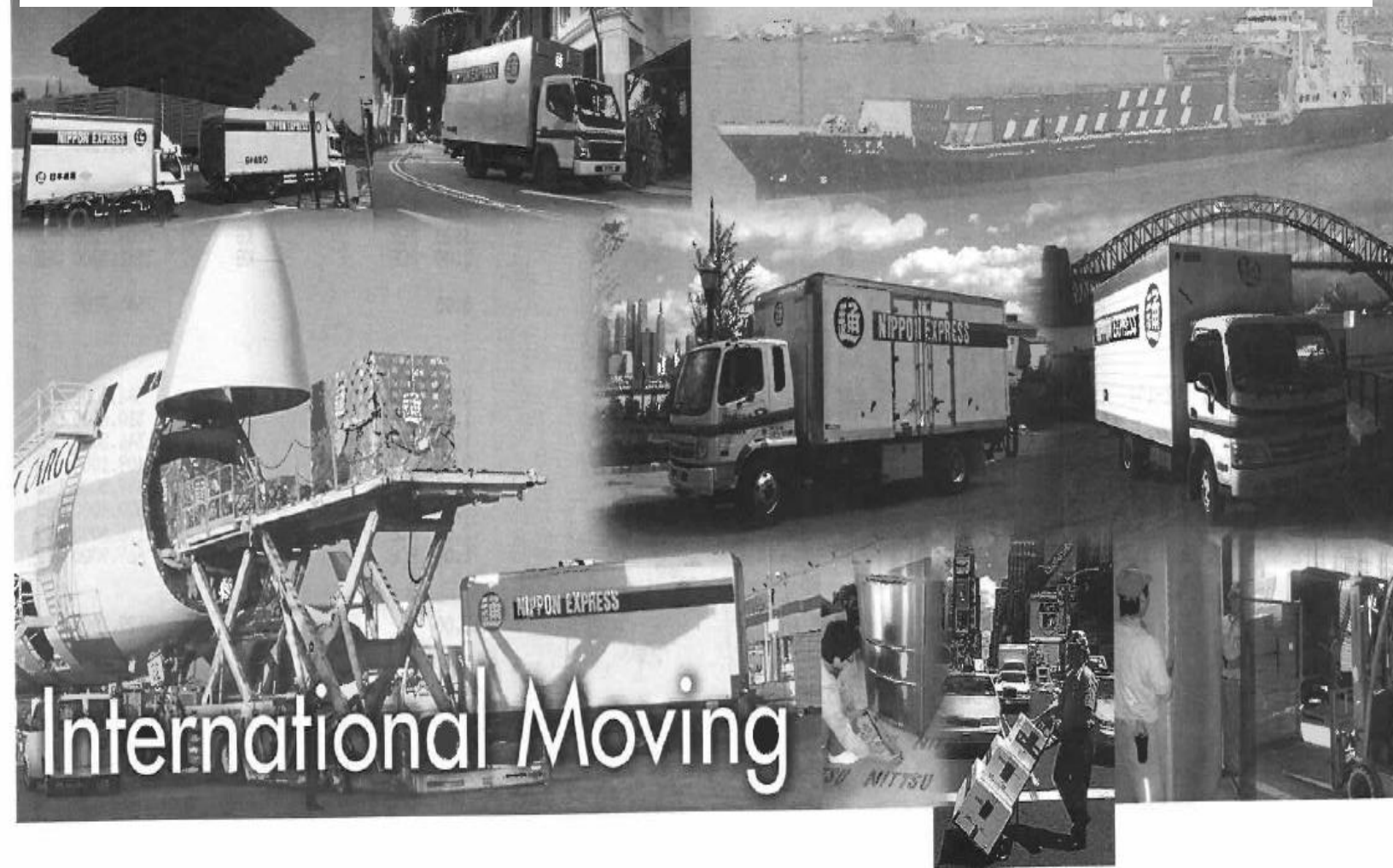
授業日の2日は、春の日差しを感じさせるよう

な晴れの日になりましたが、子ども達が期待していた外遊びは、溶けだした雪により中止となり室内遊びに切り替わりました。たまたま通りかかった教室を覗くと、室内での過ごし方が学年の発達により違いがあり、楽しい発見をしました。

よく子どもは、遊ぶことでことばを学んでいくと言われます。友達と遊ぶ時、相手に自分の気持ちを伝える必要が出てきます。モノを貸してほしい、一緒に遊んでほしい、この遊びをしたい、自分の言葉で友達に気持ちを伝え、友達の話も理解して(汲み取って)遊ばなければなりません。そのため、子ども達は遊びながら言葉をぐんぐん覚えます。特に学年が低いほど影響は大きく、遊びや集団生活をする中で、急に語彙力が伸びるのはこのためです。休み時間も日本語力をつける大事な時間となっています。



帰国の際の引越しは、日通にお任せ下さい



海外からの帰国にピッタリな引越しプラン

スタンダードサービス: 梱包から大型家具の輸送までお客様のニーズにお応えします。

スモールパッケージサービス: お荷物の少ない方にお勧めのお得なパッケージサービスです。

お申し込み、お問い合わせは米国日本通運ワシントン支店まで

新春書初め展覧会

運営委員会総務部主催による「新春書初め展覧会」が、今年度新事業として開催されました。

放課後書道教室で指導されている知名先生の協力のもと、小学部の子ども達を中心に、一筆一筆に力を込めて丁寧に仕上げた書初め作品を鑑賞し表彰式を行いました。生徒の実技によるデモンストレーションや、私も一部参加させていただいた習字レクチャー、久しぶりに子ども達の前で、書写の基本についてお話をさせていただき楽しい時間を過ごしました。

46 作品の応募があり、そのうち 12 名児童生徒が受賞されました。

総合 1 位: 中 1 年宮城茉莉花さん **同点 2 位:** 6 年杉本拓海さん

同点 2 位: 4 年マハフィー星夜さん

半紙の部: 3 年スミスまやさん 3 年別所 凜さん

八つ切りの部: 1 年グリーン正輝さん 中 1 年知名アイシスさん

画仙紙の部: 4 年加藤晴子さん 4 年大根聡介さん 5 年坂本実来さん

特別賞: 2 年松井優奈さん 2 年赤畑敦子さん

(生徒のデモンストレーションは 5 年生で 5 段位の坂本実来さん)

展覧会への参加児童生徒は約 30 人。親兄弟姉妹の見学者は、関係者を含め約 40 名 合計 70 名でした。



日産図書の寄贈

今年も、『ニッサン童話と絵本のグランプリ大賞受賞作品』4 点の寄贈がありました。

2 日、日産自動車の萩原様が来校され、「子ども達に読んでいただければ」と心温かいお言葉をいただきました。図書館にて貸し出しを行います。ありがとうございました。



こぐまのアーリーとあかいぼうし

しろしろのさんぽ

ふうふうママ

ともちゃんのたんじょうび

B L 出版

なくそう!「いじめ」

今、学校教育において、依然として「いじめ問題」が生徒指導上の大きな課題となっています。

文部科学省は昨年 4 月、日本人学校及び補習授業校に対して、平成 30 年度教育課程等実施状況調査の中で、初めて、いじめの問題等生徒指導上の諸課題に関する調査を行いました。その集計結果の通知を受けましたので、下記リンクにてお知らせいたします。

報告では、日本人学校、補習授業校は、概ね国内の学校に比べ低い結果である一方、いじめ問題に対する各学校の組織的な取り組みや実態把握など、いじめの認知や問題への対応に課題があると認識されました。また、近年の急速な情報技術の発展により、携帯電話等による新たないじめ問題が生じ、いじめはますます潜在・複雑化する様相を見せていることへの対応も必要になっていると指摘されました。

本校では、平成 28 年度に「生徒指導マニュアル」を作成し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応についての基本的な認識や考え方を示し、いじめ問題を学校全体で正しく理解し保護者へ周知しているところですが、なお一層の取り組みを充実させていきたいと思っています。

http://www.wjls.org/wjls2/files/Letter_on%20Ijime.pdf

http://www.wjls.org/wjls2/files/Results_on_Ijime.pdf